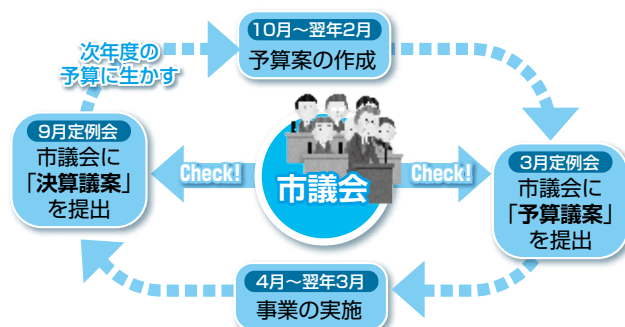


令和4年度決算

決算審査特別委員会による審査を実施

決算審査とは

議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査するとともに、提出された資料に基づいてその効果を検証し、市民に代わって行政効果を評価するとても重要な制度です。



◎一般会計決算

※千円以下は切捨てていますので、合計額は一致しません。

一 般 会 計	令和4年度	令和3年度	増減率
収入済額	346億4,964万円	367億4,456万円	△5.7%
支出済額	329億7,896万円	349億4,605万円	△5.6%
歳入歳出差引額	16億7,068万円	17億9,851万円	△7.1%
翌年度へ繰り越す事業の財源	1億9,087万円	6,152万円	310.2%
実質収支額	14億7,981万円	17億3,698万円	△14.8%

歳 入		令和4年度	令和3年度	増減率
市 税	市民税・固定資産税等	93億1,457万円	91億6,486万円	1.6%
地方譲与税・交付金	国や県が徴収した税金から配分される交付金	22億3,732万円	23億1,854万円	△3.5%
地方交付税	財源の不足分を国が配分する交付税	73億8,537万円	72億6,656万円	1.6%
国・県支出金	特定の事業に対しての国や県からの補助金等	83億7,142万円	104億6,149万円	△20.0%
市 債	借入金	24億940万円	33億7,060万円	△28.5%
そ の 他	使用料、手数料、繰入金等	49億3,154万円	41億6,250万円	18.4%
歳 入 合 計		346億4,964万円	367億4,456万円	△5.7%

歳 出		令和4年度	令和3年度	増減率
総 務 費	市税の徴収・庁舎の維持費等	45億3,323万円	44億1,528万円	2.7%
民 生 費	福祉、保育園運営、生活保護等	91億4,793万円	98億9,571万円	△7.6%
衛 生 費	検診や新型コロナワクチン接種、ゴミ処理等	23億6,937万円	24億1,476万円	△1.9%
土 木 費	道路の維持管理、河川や公園管理等	40億4,885万円	40億4,437万円	0.1%
教 育 費	幼稚園、学校・社会教育や文化財の保護等	45億9,987万円	46億4,840万円	△1.0%
災害復旧費	被災施設の復旧等	1億7,285万円	9億2,796万円	△81.4%
公 債 費	借入金の返済	38億5,921万円	35億8,557万円	7.6%
そ の 他	議会費、農林水産費、商工費等	42億4,762万円	50億1,396万円	△15.2%
歳 出 合 計		329億7,896万円	349億4,605万円	△5.6%

◆健全化判断比率

指 標	内 容	令和4年度	令和3年度	早期健全化基準※	財政再生基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし	12.61%	20%
連結実質赤字比率	一般会計・特別・企業会計を合算した赤字の割合	赤字なし	赤字なし	17.61%	30%
実質公債費比率	年間の借入金返済額の割合(3か年平均)	8.6%	9.5%	25%	35%
将来負担比率	将来見込まれる負債の割合	44.5%	47.6%	350%	—

※この基準を超えると健全化に向けた取り組みが必要となる。

決算審査特別委員会を設置

決算審査特別委員

- ◎ 委員長 戸倉 宏一
- 副委員長 吉見優一郎
- 委員 永山 均 植村 美洋
- 根本 建一 柴原 隆夫
- 佐川 京子 深谷 弘



個別審査

- 議案第57号 令和4年度白河市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第58号 令和4年度白河市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について
- 議案第59号 令和4年度白河市工業用水道事業会計決算の認定について
- 議案第60号 令和4年度白河市下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について

※個別審査、総括質疑の中から、委員それぞれの視点からの質疑内容を6、7ページに掲載しております。



事業の成果及び効果を主眼に個別審査を実施



総括質疑・討論・採決

・総括質疑 議案57号

深谷委員

1. 決算状況全般について（財政運営）
2. （第8期）介護保険事業計画について
3. 市税及び国保税の不能欠損・滞納繰越事由とその対策

佐川委員

1. 勧工場跡地と旧脇本陣蔵屋敷の空間整備事業

・討論 議案57号

反対 深谷委員、賛成 吉見委員

・採決

議案第57号については、賛成多数、58号から60号については全会一致により認定及び可決



本会議の採決

※本会議の討論の様子はQRコードでご覧になれます。



認定

◎議案第57号 **賛成22人 反対1人**により賛成多数で

議案名	永山均	遠藤公彦	植村美洋	大木絵理	吉見優一郎	鈴木裕哉	高島裕	佐川琴次	戸倉宏一	根本建一	室井伸一	緑川照生	柴原隆夫	菅原修一	北野唯道	水野谷正則	佐川京子	藤田文夫	大花務	石名国光	高橋光雄	大竹功一	深谷弘	
議案第57号 令和4年度白河市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

◎議案第58号から第60号については、いずれも全会一致で認定及び可決しました。

決算審査特別委員会総括

戸倉委員長の視点

今年度の決算審査特別委員会は、昨年同様に各委員から事前に質疑事項や資料請求を行い効率的に行いました。市民の皆様方からお預かりした税金が、政策、施策、事務事業の経済性、効率性、有効性を主眼に各委員は詳細にわたり調査を行いました。令和4年度の決算は、3年度に引き続きコロナへの対応が色濃く反映されており、多大な財政負担が強えられるなか、起債の繰り上げ償還や将来を見据えた基金積み立てなど、財政基盤の強化にも取り組んでおります。コロナ以前の日常が戻る気配が感じられる現在、景気の回復と市財政の負担軽減が期待されるところです。



部活動指導充実事業

教職員の多忙化解消に向けて

中学校の部活動において、顧問に代わって練習指導や大会の引率を行い、多忙化解消とともに大会での好成績にも繋がった。また、今後の部活動地域移行を見据えて対応を検討



するとともに、指導員の人材確保が課題である。

部活動指導員

吉見副委員長の視点



地域プレイヤー創出・育成事業

白河の地域課題を新たな視点から捉えていく

地域の資源活用や課題解決のきっかけをつくる「ワークショップ」の開催や、白河での起業に関心のある首都圏在住者と意見交換する「オフライン交流会」を実施し、人材発掘・知識技能の習得・地域活性化活動の実践のための支援を行った。

ワークショップの様子



道路維持費

維持管理の必要性が高まっている

既存道路の景観維持や危険個所の解消等、維持管理に対する要望が年々高まっている。安心安全な生活道路を確保するため、維持管理の重要性を認識しており、今後も適正な予算確保に努めていくべき。



改修された側溝

永山委員の視点



サイクルツーリズム推進事業

レンタサイクルの実績は

市内3箇所にレンタサイクルを設置している。観光目的の他、市内を移動する手段としての自転車利用も多い。今後も利便性の向上や、多様な要望に対応した利用方法等、利用者の増加を図るための検討をしていくべき。



勸工場跡地と旧脇本陣蔵座敷の空間整備事業

どのくらいの利用が見込めるのか？

本市において中心市街地活性化は重要な課題であり、その中で勸工場跡地と旧脇本陣の活用は有効であると考えられる。しかし、現在進行中の事業の施設利用については、もっと利用見込み者や一般市民に対するアンケート調査などの綿密な精査が必要ではないか。



ワークショップの様子

植村委員の視点



南湖公園魅力発信事業

成果を上げているので継続を望む！

本事業は、南湖公園の誘客や地域活性化に大きな成果を上げた。様々な企画をおこない、マスコミにしばしば情報を発信した結果ではないか。南湖神社創建と渋沢栄一の関係などの文化的なことにも注目された。とくに竹灯籠の事業は規模を拡大しつつ今後も継続してもらいたい。

竹灯籠ライトアップ



不能欠損額・収入未済額について 適正に処理・管理されているか

固定資産税、市民税などの市税及び使用料や手数料等に係る「不能欠損」について、また、未回収となっている「収入未済額」案件



について、その理由及び法令や基準に基づき適正に処理、管理がなされているか検証しました。



根本委員の視点

地域づくり活性化支援事業について 補助率の見直しを

各地区で、地域活性化のため、特性を生かした事業を行うボランティア団体等に対する補助金について学生を除いては、3分の2の補助率であるが、収益が発生しない事業については、今後、補助率を上げることが求めました。



脱炭素チャレンジしらかわ事業 CO₂排出量削減の取り組み

2050年までに白河市域におけるCO₂の排出量実質ゼロを目指す事業。温室効果ガス削減目標を立て行動する枠組みとして「白河市地球温暖化対策実施計画」を策定しました。気候変動に伴う「災害級の暑」などの悪影響を回避・軽減する適応策を確認しました。



策定委員会の様子



柴原委員の視点

出産・子育て応援交付金事業 妊婦・子育て応援サービス

すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴奏型相談支援を図る事業です。出生数は平成18年が604人で、令和4年が303人と半減しております。この激減する子ども減少に歯止めをかける対策と考えます。



勸工場跡地と旧脇本陣 蔵座敷の空間整備事業

利活用に向けての基本調査を実施

決算額484万円。歴史まちづくりの重要拠点として基本調査を実施したが、さらに各種団体から意見を聴取したりパブリックコメントの実施を要すると考える。



勸工場跡地の利活用調査業務でのイメージ図



佐川委員の視点

みんなの笑顔が繋がる家事分担事業 講座等を3回実施

決算額128万2千円。男性も女性も就労意欲に応じてあらゆる分野で活躍出来る社会を推進するため、家庭内の家事分担に興味を持つ機会を提供した。さらに市民の参加が促進されるよう工夫が必要と感じた。

家事シェア!応援講座



決算状況全般(財政運営)について 過去5年間の収支状況から

財政運営の健全化を示す実質公債費比率は低く抑えられ安定している。一方、繰上償還が毎年計上されている。将来利息軽減の効果があり財政健全化にはつながるが、市民要求に応える予算として執行する必要があるのではないか。



深谷委員の視点

第8期介護保険事業計画の 進捗状況

介護サービスの計画値及び決算額

第8期(令和3~5年度)における介護サービスの到達は、2カ年の推移から最終的には計画値の90%にとどまることが予想される。来年度からの第9期介護保険事業計画(介護保険料を含む)はどうか、今後市民の意見を踏まえ今後十分な審議が求められる。